

未来戦略推進プランとの関係及び位置付け・成果指標の設定について

1 未来戦略推進プランとの関係及び位置付け

未来戦略推進プランとの関係及び位置付けについて、現状と課題を踏まえ、今後の方向性を下記のとおりとする。

【現状】

① 計画の内容

- ・基本計画 → 地域づくりの方向 > 政策 > 施策 > 計画事業
- ・戦略プラン → 基本計画の実施計画、都市経営の戦略、行政経営の戦略

② 計画期間

- ・基本計画 → 10年間（前期5年・後期5年）
- ・戦略プラン → 4年間（毎年度更新）

【課題】基本計画で定める計画事業については、現在は実質、新規拡充事業が反映された未来戦略推進プランで進捗・管理しており、基本計画に掲載されている計画事業の事業量及び事業費が形骸化した状態となっている。

【今後の方向性（案）】

基本計画においては「地域づくりの方向」における政策・施策を示すことを主眼とした計画づくりとする。また、計画事業の事業量及び事業費は、実施計画である未来戦略推進プランの中で示していく。

2 成果指標の設定について

成果指標の設定について、現状と課題を踏まえ、今後の方向性を下記のとおりとする。

【現状】基本計画における成果指標は政策レベルでの設定となっている。

【課題】政策レベルでの成果指標では、区の出組みの効果以外の要素による影響が大きくなるため、指標と区の出組みとの因果関係が明確とならない。

【今後の方向性（案）】

成果指標の設定を施策レベルとし、政策を実現する上で必要となる区の出組みにおける具体的な成果指標を設定する。

